



# 魅力は、うどんだけじゃない香川県 !! ～地域資源を生かして地域振興を～

(一財)自治体国際化協会 交流支援部 交流親善課

## 海外自治体幹部交流協力セミナー in 香川県

海外自治体幹部交流協力セミナーは、当協会海外事務所管内の自治体幹部職員などを日本に招へいし、地方自治の現場の視察や行政施策に関する意見交換などを行うプログラムです。今回はフランスの自治体幹部職員3名を迎え、8月6日から8月15日までの期間、東京都と香川県で「地域資源を生かした地域振興と情報発信」というテーマのもと、セミナーを開催しました。

## 東京の地域資源とは…?

東京セミナーでは、テーマに沿って、東京都新宿区の実地資源である染色業者のうち、「富田染工芸」を訪問しました。「富田染工芸」では、地場産業として新宿区に根付いた歴史などに関する講義を受講し、作業を見学したのち、ふくさ作り体験を行いました。参加者からは、日本ならではの繊細で熟練した職人技に感嘆の声が聞かれるとともに、体験にも熱心に取り組む様子が印象的でした。

また、一般財団法人地域活性化センター広報室長の畠田千鶴氏より、「地域資源のプロモーションと自治体アンテナショップの役割」についてのお話をいただいたのち、実際に香川県のアンテナショップを訪問し、香川県の東京における販売活動の様子を視察しました。参加者からは、アンテナショップの運営を自治体が主体となっており、興味深い取り組みだとの意見も聞かれました。

6泊7日で開催した地方交流事業では、数多くの香川県の魅力に触れ、参加者は魅力たっぷりの香川県をマルセイユ地方になぞらえるなど、香川県にすっかり魅了されている様子でした。意見交換会では、互いの自治体の地域振興の取り組みについて意見を交換しあい、大変

実り多いセミナーとなったことと思います。今回のセミナーが、日仏両国の地方行政における問題解決のヒントを得るきっかけになるとともに、日仏自治体同士のつながりが、より強固なものとなることを願っております。



ふくさ作り体験をする参加者たち



「地域資源のプロモーションと自治体アンテナショップの役割」講義風景



香川・愛媛せとうち旬彩館視察風景

## 香川県

香川県総務部知事公室国際課  
課長 谷口 英二

### 香川県で受け入れる意義

(一財)自治体国際化協会(クレア)が主催する「海外自治体幹部交流協力セミナー2018(パリ事務所所管内)」の地方交流事業が8月8日から8月14日まで香川県で行われました(8月8日と8月14日は移動日)。

本県では、「インバウンド促進」や「県産品振興」といった取り組みに対するアドバイスをいただくため、「地域資源を生かした地域振興と情報発信」をテーマとし、フランスの地方自治体幹部職員を受け入れました。

### 「県内視察」および「意見交換会」

#### 【初日 香川県セミナースタート(8月9日)】

まず、「香川県立ミュージアム」へ案内。本県ゆかりの美術作品や歴史・民俗資料の鑑賞のほか、戦国時代の甲冑や平安時代の十二単の着付け体験など、本県の歴史や芸術を体感していただきました。

続いて、国の特別名勝である「栗林公園」へお連れし、和船周遊や抹茶体験をするなど、日本庭園での暑さを忘れるひとときとなりました。

視察後、「香川県副知事への表敬訪問」と「意見交換会」を実施。本県のインバウンドへの取り組みや県産品の振興策について紹介するとともに、本県のPR手法について逆に提案もあり、有意義な意見交換となりました。



「栗林公園」における和船周遊



意見交換会

この日は、香川県の夜景をバックに歓迎夕食会を開催し、交流を図りました。

#### 【2日目~4日目 小豆島視察(8月10日) &

#### ホームステイ(8月10日~8月12日)】

2日目は、日本のオリーブ発祥の地であり、また、醤油づくりでも400年の伝統を誇るなど、魅力満載の小豆島に渡り、本県の醤油の特性や、地酒のフランスにおけるPR、販売手法、また、日本のオリーブオイルの商

品表示などについて意見を交わしました。

小豆島の視察後、ホームステイを通じて、日本人の日々の生活スタイルを知っていただきました。

#### 【5日目 盆栽の里 & 宿坊体験(8月12日)】

高松市の盆栽園を訪問(松盆栽では全国の約8割を本県で生産)、盆栽に対する理解を深めていただくとともに、弘法大師空海の生誕の地である「総本山善通寺」に移動し、宿坊体験により、遍路文化に触れてもらう機会となりました。

#### 【6日目 最終日(8月13日)】

早朝、「総本山善通寺」にてお勤め体験、その後海上交通の守り神が祀られている「金刀比羅宮」や現存する日本最古の芝居小屋である旧



うどん作り体験

金毘羅大芝居「金丸座」を視察しました。

この日の昼食は、本県の名物「讃岐うどん」。名物校長先生のレクチャーのもと音楽に合わせて、うどん作りを楽しんでいただきました。

今回の受け入れでは、フランスの方々には本県の特産品、歴史、文化、芸術について直接知っていただき、その魅力を、フランスをはじめ、ヨーロッパの国々に情報発信していただく絶好の機会となりました。

セミナーを終えて、参加者の皆さんからは、「都会にはない地域の魅力を深く知ることができた」との感想をいただきました。日本一面積が小さい本県には日本の文化が凝縮しており、独自の良さがあるということ、セミナーを通して伝えるとともに、その情報発信手法について積極的な意見交換ができたのではないかと思います。

日仏友好160周年という節目にあたる今年、本県とフランスとのつながりや今後の交流を考えるうえで、非常に有意義なセミナーであったと感じています。